

【明治維新150年事業関連企画展】

# 日本赤十字社展

—博愛とともに—



東郷青児「ソルフェリーノの啓示」(1977年)油彩(日本赤十字社蔵)©Sompo Museum of Art, 2018

2018年

3月6日(火) ▶ 6月30日(土)

◎会期中展示替あり ◎休館日/月曜日(月曜祝日の場合は翌日)

【会場】

佐賀市 佐野常民 記念館

TSUNETAMI SANO Memorial Museum

〒840-2202 佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

【観覧料】大人300円 小人100円  
(常設展示観覧を含む)

【開館時間】9:00～17:00

●主催/佐野常民記念館  
●共催/佐野常民顕彰会

●後援/日本赤十字社佐賀県支部、NHK佐賀放送局、サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ佐賀、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社(順不同)

【明治維新150年事業関連企画展】

# 日本赤十字社展

## —博愛とともに—

西南戦争をきっかけとして、佐野常民を中心に「博愛社」が設立され140年。この博愛社をもとに生まれた日本赤十字社は、今も日々戦争や災害などで苦しむ人々のために奔走されています。

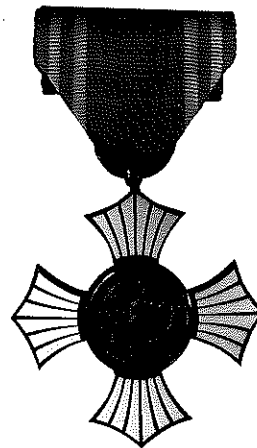
赤十字事業の始まりは、1859年にイタリアで起こったソルフェリーノの戦いと呼ばれる戦闘まで遡ります。この戦いの惨状を目の当たりにしたアンリ・デュナンは、自身の体験を『ソルフェリーノの思い出』に記し、戦いで傷ついた者たちを敵味方なく救援する組織を作ること提案。これが実を結び、赤十字事業の発展へとつながっていきます。

企画展では、看護婦養成・教育についてなどの資料を展示。佐野の赤十字事業に対する思いに触れます。

ほかにも、貴婦人たちが主となり発足された篤志看護婦人会の活動にも目を向け、活動の軌跡を追いつつ、日本赤十字社の足跡をたどります。



『岩代国磐梯山噴火之図』(佐野常民記念館蔵)

『日本赤十字社有功章』  
(佐野常民記念館蔵)『日本赤十字社編 看護学教程』  
(佐野常民記念館蔵)

2018年  
3月6日(火) ▶ 6月30日(土)

◎会期中展示替あり ◎休館日/月曜日(月曜祝日の場合は翌日)

## 【イベント紹介】

企画展関連ものづくり

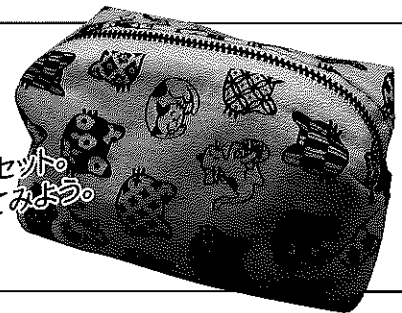
### 「メディカルポーチをつくろう」

4月19日(木) 10:00～12:00

(4月3日(火)の午前9時より受付開始)

● 大人(18歳以上) 10名様まで

緊急事態のとき活躍する救急セット。  
その道具入れを自分でつくってみよう。



## 【お問い合わせ】

佐賀市 佐野常民 記念館

TSUNETAMI SANO Memorial Museum

〒840-2202

佐賀県佐賀市川副町大字早津江津446-1

TEL 0952-34-9455 FAX 0952-34-9465

URL : [www.saganet.ne.jp/tunetami/](http://www.saganet.ne.jp/tunetami/)

Mail : [tunetami@star.saganet.ne.jp](mailto:tunetami@star.saganet.ne.jp)

